

□H291222 終業式

年間のスローガンである「切磋琢磨」。ともに磨き合い高め合う長与第二中学校の生徒としてそれぞれが、頑張った1年あるいは8ヶ月でした。

「挑戦」という2学期のことばを覚えているだろうか。ここにいる皆さんが様々なことに挑戦した学期であったと思います。

2学期は様々な行事やスポーツ等がありました。代表者のことばで二中祭や修学旅行など多くの出来事が頭に浮かんできたと思います。私からは、3年生の百日祭によせて、「信念」ということばを贈りました。3学期には、また新たな全校の目標とすることばを贈りたいと思います。

さて、2学期に体験したことから成長した自分が見られましたか。その中では、成功はもちろん大切です。試合で優勝したり、コンクールで入選または、大きな賞や長崎県の代表となったりとそれぞれの頑張りは輝いていました。

でも、成功ばかりではありません。実はそれ以上に失敗や挫折は大いに価値あるものであります。困難に立ち向かう時は、成功体験だけでは上手くいかない。試合で負けたこと。試験で自分なりに頑張ったが良くない結果であったこと。失敗や挫折、悔しさがあるって頑張る体験は、自分を成長させるために必要です。

失敗の中にこそ新たな方向性や道筋が見えてくるものである。そういった意味でも皆さんがそれぞれに頑張ることができた2学期でありました。

先ほど皆さんの代表者が発表してくれた反省や決意は、みんなで考えなければならぬことが多くあったと思います。後、数日で年が明けます。来たる2018年、平成30年に新たな目標を持って過ごしていけるように、今年の課題を解決できるものからやってみましょう。

1年生、中学生になってまた一歩大人に近づいています。おとなの階段を上るために客観的に物事を見る目を育てましょう。

2年生、3学期からは、先輩方の歴史と誇りを引き継いで活動していきます。まさにミドルリーダーといって良いでしょう。先輩から教えてもらう時間も限られています。謙虚な気持ちで新しい二中づくりの目標を定めていきましょう。

3年生、青春の大本番となる卒業式を笑顔で迎えるためには、今は、我慢そして試練に耐える時、繰り返しになりますが「信念」をもってまずは自分との戦いに挑み、合格という勝利をつかみましょう。

それぞれの思いや決意を大切に、この1年を締めくくり、新しい年を迎えましょう。残された平成29年の日々をしっかりと過ごし、来たる新年が皆さんにとって輝かしいものであることを願っています。